

【平成17年度専修学校社会人キャリアアップ教育推進事業】

事業名	個人情報保護の運用と対策を行える人材養成短期教育プログラム開発		
学校法人名	学校法人 桑園学園		
学校名	札幌ソフトウェア専門学校		
代表者	理事長 山口 正雄	担当者・連絡先	事務局 小林 仁
<p><事業の概要></p> <p>1. 目的</p> <p>離職者を対象とし、3ヶ月間(標準学習時間360時間)で企業や団体の個人情報保護の為に運用・対策を行う技術者を育成するカリキュラム及び教材を作成した。</p> <p>2. 体制と活動内容</p> <p>8名で構成する実施委員会を設置し、事業の進捗管理と各分科会からの成果物の審査及び指示を主な機能とした。次にカリキュラムの設計を行うために設計分科会を設置した。有識者をメンバーに組み込み8名で構成した。</p> <p>この分科会の下に作成分科会を設置し、テキスト及び教材を作成することを主な機能として10名で構成した。検証として、作成したテキストの実証講座を実施するために実証評価分科会を協力校の教員も含め4名で構成した。</p> <p>この実証評価分科会は、計2回開催し、実証講座は合計30時間実施した。</p> <p><成果></p> <p>上記の活動の結果、成果物として以下のドキュメントを作成した。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 個人情報保護対応技術者育成教育プログラム設計書 ② 個人情報保護対応技術者育成教育プログラムテキスト知識編 ③ 個人情報保護対応技術者育成教育プログラムテキスト実務編 ④ 報告書 <p>平成17年12月の実証講座の評価を受けて「知識編」の記述を修正した。主な変更点は、重要項目を印象付けるためにアンダーラインを引いた。その他記述の上で問題があるところを変更した。引き続き平成18年1月・2月に行った実証講座での「実務編」に関しても評価を行い、次回の改定に修正を加える。</p> <p>本カリキュラムの特徴である「実務編」の内容だが、かなり踏み込んで記述している。したがって場合によっては関係者から反論も出てくるかもしれないが、一般的な事柄だけでは「実務編」にならないのであえて踏み込んで記述した。今後、平成18年4月以降に社会人キャリアアップ講座で使われることになる予定である。現在、個人情報の流出事故・事件は後を絶たない状況である。この対策として広く啓蒙するためにこのテキストが有効であると実証講座を通して確信している。今後、実際に講座を進めていながら、問題点を改めてより実践的なテキストの完成を目指したいと考えている。</p>			